昭和26年 3月 4日（日曜日）第235號　磐城毎日新聞　（昭和二十五年十二月二十六日第621號）第三種郵便物認可（一）

磐城毎日

兵衛大和田與平市　社長
福島縣磐城郡平町15丁目12番地　發行所
株式會社磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）－二一〇番
定價1ヶ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

平市の二月定例議會

提出議案の委員審議に移る

二日開會した平市の二月定例議會は昨報の如く提出議件「件」の二案件を除く二十二案に對する總括質問を終り委員會に附託し午後二時五十分閉會した、閉會後金古一旦休議し午後二時再會、松本正副議長は議員を代表二十四年度の決算報告を上し鈴木市長を見舞つた、尚程しこれを第一部委員會に同日閉會後引續き各委員會附託し認定を得る事に決定を開催し三日も各委員會を柴田議員の議によつて病中開催中であるが各委員會の鈴木市長に對し議會の申審議は五日迄に終了し六日し合せにより議員一同として午前十時より本會議を開き金一萬圓の見舞金を贈る委員長より審議の結果を報事に決定し「議案第二四號告、更らに質問戰を行い議公安委員選任について承認決される事となつた」を求める件」「選擧第一號臨時出納檢査立會人選任の決定」の二件

自由勞組の會計係

業務上の横領で擧る

好間村北好間生れ江名町仲圓を組合の運營資金として借用していたものを返す際の作六〇船員星昇(三)は二十五年七月十五日より同年八月十五日まで一ケ月間好間村自由勞組の會計係をして居た際組合資金一萬六千四百圓の中から三千二百四十圓を前後數回にわたつて領していたが三月一日午前十一時江名町署え擧り三日送檢された

教育委員會出張所

僻地教育の振興議會

教育委員會石城出張所では來る十二日午前十時より地方事務所に於て僻地方部の教育が市街地方部の學校に比して兒童の智腦其他一般のレベルが低下しているのに鑑みこれが是正策として僻地即ち三阪箕輪等方面の教育關係者PTA及關係者を招き振興會議を開く

新採用の教員

申込締切りは七日

教育委員會石城出張所では教育委員會石城出張所では十六、七の兩日平第二小學校に於て新採用の教員希望者の選考試驗を行ふ希望者の申込締切は七日である

四月選擧に備え

政治資金取扱い注意

五日午前十時より各町村の庶務關係者を招き地方事務所において四月選擧の立候者の政治資金の支出關係を明瞭ならしめる樣傳達事務の打合會を行ふ

照明コンクール

商研役員會で具体案決る

平商研役員會は二日午後七時から役員二〇名が出席し並木通りブラジルで開催し照明コンクールについて打合せを行い次の如くモデル商店を一町内一〇軒各商店別に審査の結果決定する、モデル照明開始は二月十八日から四月十八日まで審査は四月五日から十八日までとする、又照明モデル店舗に對しては電氣器具業者は照明器具を無料提供する各モデル商店では照明を競い街の美觀に一段と光彩を添へるものとして期待されている

常磐礦倉庫から各種材料を盜む

內鄕町綴一の坪無職金田豊二(三)は二十三年の暮から今年の一月にかけて常磐炭礦綴製作所倉庫より銅板二十枚同じく綴兒倉庫より大板ガラス二箱一萬五千圓相當皮ベルト三卷十三萬圓綿糸三束六千圓相當を盜み一日逮捕され二日送檢、なお金田は外に數件の余罪ある模樣

北白土の火事

物置一棟燒く

二日午後十時四十分頃平市北白土三四番地農山野邊登一さん方物置から二日發火し同物置一棟を全燒したが浮浪者が宿り込みをしたのが原因と見られている

勿來にも赤痢

勿來町酒井出藏二〇番地勿來炭礦坑內夫菅井貫也さんは三月一日赤痢と決定

國民保健の事務

九日打合せ會開く

石城地方事務所では九日午前九時より地方事務所に於て各町村の衞生關係擔當者を招き國民保健に關する事務打合會を行う

望

先ず文化擁護と云ふ一線に公憤を覺えたの余りを「いわき民報」社長野澤氏並に歌話會の白木英美氏に對し、一片の風說を基礎にして舞文曲節を弄し、著るしく社會的生命を傷けましたことを深くお詫び申上る次第でありますと、私も當年三才の女兒の親にして又兩親を持つ人の子でもありますから、文化を說き社會正義を叫ぶも、結局は私の傍に無心に眠る妻子のよりよき幸福と平和を願へばなのであります、一文化人として絕對平和を念願とこそすれ、平地に波瀾を起すことはことの如何を問はず好まないところであります、ところが小生の草しました一文が計らずも名譽毀損、選擧妨害罪を構成するとのことでしたのでただ〳〵自己の不明に赤面致す次第であります又知らざる所とは云ひながら關係各位の方に多大な御迷惑をお掛け致しましたことを改めてお詫びいたします、最後に一言附記させていただけますれば、私の眞意はあくまで政治とは離れた純粹な文化の擁護に有りましたので、他意あつてのことではありません、文化人として指導的地位におられる兩氏の今後の活動に一沫の暗影をお與へしたことは恐縮の致りですが、何とぞ私の眞意をお汲み取りなされまして、今後とも地方文化の發展向上の爲大度量を以て御活躍なされんことをお詫び方々お願ひする次第であります（芳賀他鄕）

天氣

三日晩は北西の風晴たり曇つたりの天氣です四日北西の風晴一時曇りで北部山添地方ではしぐれがありませう五日北西の風天氣良い見込海上沖合は季節風により風波が高いが沿岸はおだやかでせう

訃

謹啓　母ミサホ儀かねて病床にあつて療養中の處醫藥の効もなく本日午後一時二十分永眠致ました生前の御交誼を深謝すると共に紙面にて矢禮乍ら謹んでお知らせ申上げます
追而葬儀は來る三月四日午後二時自宅出棺性源寺に於て佛式により相營みます
昭和二十六年三月二日
平市二丁目
嗣子　山崎福次郎
外親戚一同

迎歡稿投

は一般の注意を促している

平工高の卒業式

優等生四名決る

平工業高等學校では來る六日午前十時より第三回卒業式を行ふ、新卒業生は二百四十九名で優等生は四名である、優等生氏名左の通りである

◎高業教育振興會長（文部大臣）賞電氣科井出八郎（湯本）◎平商工會議所會頭賞土木科瀨谷徹（植田）◎PTA會長賞機械科岡田一郎（龍田）◎採礦科相樂敏厚（湯本）

4日～愈々上映

大都會の夜空を焦す紅蓮の炎
相つぐ强盜放火團の挑戰に
敢然挺身する消防決死隊

兇惡非道の放火魔と消防戰士の決斗
炎と水煙に虹描く二つの戀
團對消防決死隊の激斗!!
火焰の中に繰りひろげる壯烈無比の
大スペクタクル!

世界館

監督　田中重雄

消防決死隊

ズシーン學入學樣皆◎

が參りました!!!

學生服　學童服
セーラ服　大學服
各種服地豊富!

洋服　洋品は　服地

丸進へ

平市銀座通り

待望の顔合せ　火花を散すら大競演

浪曲大會

木村若衛
玉川勝太郎
渡米歸朝第一回地方公演!!
東家浦太郎
立石弘志改メ四代目
天中軒雲月
松平國十郎
（一行三十名長講熱演）

入場料　二〇〇圓
前賣券　一五〇圓
（前賣券　二千枚限り）

期日　三月十日（土曜日）午後三時より

會場　平市公會堂

主催　大宮孝志
後援　風戸興行社

郷土の物語り（三）

飯野惡田郎

自分の德行は近隣に擴がりに働いたのである、それはお喜代の快復が思つたよりお布施が多いから食糧には困らぬ故いつまでもゆつくりと靜養して御內儀の快復を計られよそのうち機をみて義忠公に推薦するであらうと、權之進は顯藏主の下しい良い人になつたのである、坊主は權之進を殺してお喜代を奪いとらうと決心する樣になつた、お喜代がやがて床を離れるようになると坊主の身の廻りから炊事一切を自分でやる樣になつた、權之進は義忠公からお呼出しが來るのを一日千秋のおもいで待つたが、きつぱり沙汰がないので變に考へたに違いない、義忠公と佐藤信濃守信貫との勢力爭は日に增しはげしくなつて行くようだし、鎌田氏と白土氏との爭いや岩城氏の優勢をみるにつけ一日も早く仕官したいと念願したのは當然であつたろう、人間の本性はそう長くはかくしつ樣にと懇願したのである、その夜坊主は止むなく退去したがその後しつこく彼女を追いまわした事は勿論である、權之進はこの氣配を察知して妻を攻めたので彼女は遂に主人に語らねばならなくなつた、權之進の怒りは日頃の鬱憤も手傳つて大きく爆發した、或夜遠くへ行つた筈の彼は妻の隣の室に息をひそめ愛劍のメクギを拔いて時刻を待つて居たのである

續く

平市及び郡下の人口

男女數の比率が興味

昭和二十五年十月一日現在で實施された國勢調査による石城郡及平市の人口狀態は全國の女子が男子よりも多いのに比較し平市は別として石城郡下は男子の方が女子よりも多くこれは炭礦並に濱地帶が他國からの働き人が集り女子の數をしのいでこれが郡下の人口數に表れた結果である、農村は言ふまでもなく女子が男子よりも多い郡下の男女別人口數は左の通りである

町村名	男子	女子	計
泉村	三四五一	三四九四	六九四五
渡邊村	一一九六	一一三〇	二四二六
山田村	三〇七四	三一五一	六二二五
錦町	四八六五	四七一九	九五八四
勿來町	八三七四	八四六五	一六八三九
上遠野	三二五四	三四一二	六六六六
入遠野	二五六八	二五八四	五一五二
川部村	三二一九	三一九四	六四一三
田人村	四一〇一	三九二七	八〇二八
夏井村	一五三六	一六六七	三三〇三
高久村	一六〇〇	一七〇七	三三〇七
豊間町	二八九九	二九六六	五八六五
江名濱	七五三〇	五二〇一	一二七三一
小名濱	一三三六五	一三二四	二六六〇八
磐崎村	五七四五	五六四八	一一三九三
湯本町	一四四二〇	一三九四三	二八三六三三
內郷町	一八五四二	一八五四〇	三七〇八二
好間村	一一二三四	一〇九二五	二二一五九
赤井村	五六一四	五五七六	一一一九〇
永戸村	二五四六	二七三五	五二八一
澤渡村	二五四六	二七九八	五三四四
草野村	二七九三	二八三〇	五六二二
大浦村	二七三四	二八二二	五五五六
四ツ倉	五〇五二	五二一九	一〇二七一
大野村	二二六三	二四一二	四六七五
川前村	一八五五	一九〇四	三七五九
小川村	二五四七	二六九四	五二四一
計	一四四六五九	一四三〇三二	二八七六九一
平市	二〇七一五	二一一七七	四二八九二
總計	一六五三七三	一六五二六九	三三五九八二

最近多い密造酒販賣

稅務署嚴重取締に乘り出す

平稅務署では最近ひんぴんと密造酒が販賣されて居るので警告を發して居る、殊に田人、勿來、上遠野方面が最も多く一升二百圓から二百五拾圓程度で販賣して居るが今迄の密造は第三國、人の手で行われていたが最近は日本人の密造が多く惡質者は一人で一石から二石も密造して居るので平稅務署では取締りを徹底的に行ふと警告を發して居る

上戸黨に痛い話し

酒不足と値上り豫想

最近平市內の酒屋に酒がないと云ふ話題が傳はつているが如何なる譯けか稅務署に伺いを立てゝ見ると昨年度酒が賣切れ又新酒が出ない爲だと云ふ、一態何日になつたら出廻るか一番早い新酒は今月十日頃出來る譯であるから今月末までに充分出廻ると平稅務署では云つて居る又値下りの酒が原料が値上りのため新酒から値上になるものと豫想され

未納者の罰金徵收を强行す

平檢察廳では罪金未納金額が百六拾萬圓の高額に昇り未納者に對しては刑務所に收容し重勞働にすると警告を發して居る一方檢事直接未納者を警察署に呼出して罰金を徵集するが、其の呼出した際罰金を收めない者に對しては其の場から勞役に

教育職組の組織

第二回打合せ會

教育委員會石城出張所では昭和二十六年度の教育職員組織第二回打合會を十三日から四日間次の日程で行ふ

○十三日　草野小學校
○十四日　湯本中學校
○十五日　植田小學校
○十六日　平第二小學校

工業センサス

審査會を開く

石城地方事務所では九、十兩日午前九時より地方事務所において去る一月二十四日に各工業代表者に通達した工業センサスに關して縣統計課大方主事の來平の下に審査會を行ふ

平市の交通事故

豊ちやんが重傷

平市十五丁目十二番地材木商兒山達二さん五男豊(九)君は三日午前十一時頃平和通りで船生礦山株式會社のトラックの後部に觸れて頭部に全治三週間の傷を負つた

留置所に收容する

サラーリマンに福音

磐城月賦商會生れる

金詰の聲が巷に滿ち滿ちている折平市內材木町磐城月賦商會では次の品目を市民の便宜を計る意味において月賦販賣を受付實施している

△月五百圓單位ラジオ、時計、家具、其の他
△月千圓單位皮靴、其の他

去る二月二十七日から三月一日まで、東北配電平營業所では上部機關の指令により一齊に事務ストに入つたストといつても間違つてはいけません、ストはストでも事務を時間中だけして他の時間はしないといふやり方、殘業は勿論宿直もしない宿直がしないとなると困つた、會社側は所長さんと總務課長さんのお二人このお二人が變りばんこに宿直當番、時間過ぎの電話の取次からお客樣の應待まで!!外部の人は勿論のこと、內部でさえも所長さんと課長さんがねあとは言えない、同情してかわつてやつたらギヨツ?スト破り?親切も仇になるとは民主主義もせつないもよの

拾い読み

綿と ふんと
吉村製綿店
平市研町通り
御注問に應じ迅速
御調製いたします

女給さん求む
待隅委細面談
姓名在社1

電話讓り
受けたし
姓名在社2

日庸の女人夫
拾得金猫ババ
勿來町酒井出倉二四疊商店服部良夫內緣の妻日庸人夫佐藤ハシメ(三七)は二月二十六日朝仕事え行く途中勿來町久保田路上で千五百圓を拾いそのまゝ着服していたものを二日勿來署え擧つた

獸醫會の總會
三月十一日午前十時より石城方部獸醫會では、地方事務所において總會を開き役員改選其の他について協議する

4日～10日
大船得意の下町喜劇
若旦那シリーズ戰後第一彈!!!
美男の若旦那をめぐつて戀の心藏娘があの手この手の爭奪戰アベック連れで是非どうぞ!
松竹 乾杯若旦那
主 鶴田浩二 幾野道子
津島惠子 日守新一
演 河村黎吉 飯田蝶子
館 平

6日～10日
痛快の爆笑篇!!
凸凹コンビ十八回の登場あつさり此の世におさらばした凹君にもあつさり昇天出來かねる爭があつて……
ユニヴアーサル特作
凸凹幽靈屋敷
主 ルーコステロ バットアボット マージョリーレイノルズ ビニーバーンズ
演
樂 聚館

本紙三月二日附展望欄に揭載した投稿は筆者君は三日午前十一時頃平和通りで船生礦山株式會社のトラックの後部に觸れて頭部に全治三週間の傷を負つた
サラーリマンに福音
磐城月賦商會生れる
金詰の聲が巷に滿ち滿ちている折平市內材木町磐城月賦商會では次の品目を市民の便宜を計る意味において月賦販賣を受付實施している
△月五百圓單位ラジオ、時計、家具、其の他
△月千圓單位皮靴、其の他

謝罪廣告
芳賀他鄉君が私怨を晴らさんため、强いて貴君ならびに石城歌話會白木英尾氏との關係を虛構ねつ造し、事實全く無根の一文であつたのこれも拘らず、內容の調査をゆるがせにして、貴下ならびに白木英尾氏の名譽を紙上に公表し貴下ならびに白木英尾氏の遺憾にたえず謹んで茲に陳謝します
三月三日
磐城每日新聞社
編集責任者 山野邊正善
白木英尾殿
野澤武藏殿

桃の節句の御用意は!
小野榮呉服店
平市本町四丁目 電五一五番

出火御見舞を謝す
平市大字北白土
山野邊登一